

インフラ海外展開懇談会について

令和2年4月
経済産業省
貿易経済協力局

1. 趣旨

政府は、2013年4月に我が国企業によるインフラシステム輸出を支援する司令塔として「経協インフラ戦略会議」を立ち上げた。同会議では、2020年30兆円の受注目標を掲げ、これまで地域別・分野別など様々なテーマについて46回に渡り議論を重ねてきたところ。

令和2年2月からは、内閣官房において2021年以降の新たな戦略の方向性が議論されているが、我が国企業を取り巻く市場環境や地球規模課題等の社会情勢を正確に踏まえた上で、インフラシステム輸出を今後一層推進していくことが重要。

こうした問題意識の下、産業界、国内外の有識者と施策の検討に必要なファクトを整理・検証し、その方向性を検討することを目的としてインフラ海外展開懇談会を開催するもの。

2. 懇談会の概要

名称：インフラ海外展開懇談会

重点分野：①エネルギー・電力、②デジタルを重点とし二部構成。

メンバー構成：座長1名を固定とし、各部5名程度メンバーを置く
(一部と二部でメンバー入れ替え)。

事務局：経済産業省 貿易経済協力局

3. スケジュール(想定)

4月24日(金) 第1回会合 第一部 エネルギー・電力の開催

5月11日(月) 第2回会合 第一部 中間とりまとめ

6月上旬 インフラシステム輸出新戦略骨子の策定(内閣官房)

7～10月 第3回会合 第二部 デジタルの開催

11月 第4回会合 第一部・第二部 最終とりまとめ

12月 インフラシステム輸出新戦略の策定(内閣官房)

※必要に応じて、追加で会合を開催。

4. その他

- ・会議は、出席者の率直かつ自由な意見交換を確保することから非公開とする。ただし会議前には会議開催の旨、会議後には開催実績(議事要旨、出席者及び会議資料の一部)を経産省HPにて公開。